

青山学院大学
社会情報学部
苅宿俊文教授(53)

大楽人

ビタハビを手にする苅宿教授



かりやど・としぶみ 55年生まれ。モンゴル国立教育大学大学院修了、大東文化大学助教授、多摩美術大学非常勤講師などを経て現職。著書は「子ども・コンピュータ・未来」、「子どもたちの想像力を育む」(共著)など多数。

「学び合い」を実践研究

苅宿教授の専門は学習環境デザイン。学ぶことが面白いと感じる「学び合い」ができる学習環境とはどんなものか。それを実践的に研究する。

は、当時、アルバイトで聴覚障害の子供の家庭教師をしたのがきっかけと「教えることに興味が出てきて、大学に進学しようと思った」

今年度、2回目のゲッデデザイン賞を「ビタハビ・Vitamin H appyV」で受賞した。自身が代表を務めるNP

15歳の時、高校に行かないと決めた。「学生闘争などの時代背景もあつたが、高校はつまらないと感じた。行かないで、予定の無い生き方を試したかった。そのころは旅をしたり、本を読んだりして過ごしたんだ」

42歳で大学教員に。新しい挑戦をしてみたいと感じていた。自分のやりたいことをするなら、大学の教員も面白いと思っ

このほかにもさまざまな人材育成関係の活動に取り組み。「人がいるから自分も喜べる」。人とのコミュニケーションを考えながら、今日も教壇に立つ。【青山学院大・沢木一真、写真は東京工業大大学院・斎藤政城】

15歳の時、高校に行かないと決めた。

大学を卒業後は、東京都で小学校の教員に。最初

〇学習環境デザイン工房と青山学院大学ヒューマン・イノベーション研究センター、社会情報学部